

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
- 平成 26 年 12 月 15 日同時配布

平成 26 年 12 月 15 日
国土交通省
国土技術政策総合研究所

維持管理しやすい新たな道路橋の構造細目や仕様案の策定 ～「道路橋の耐久性の信頼性向上のための構造細目や仕様に関する共同研究」 参加者の募集について～

道路橋の老朽化対策が本格化する一方で、今後建設される道路橋では維持管理の負担を減らせるように設計で工夫することが求められます。

予め工夫し、対策を講じておくことで、これまでより道路橋の信頼性確保の確実性が向上するとともに、維持管理が容易かつ確実な構造となるように、構造細目や仕様を充実することを目的とする共同研究を実施することとし、参加者を募集します。

1. 研究項目

下記の研究項目へ、共同研究者として参加することができます。

- ①定期点検データに基づく構造細目や仕様へのフィードバック事項に関する検討
- ②鋼道路橋に新たに望まれる構造細目や仕様に関する検討
- ③コンクリート道路橋に新たに望まれる構造細目や仕様に関する検討
- ④構造細目や仕様案のとりまとめ

研究期間は 2 年。詳細については、別添資料を御参照ください。

2. 募集期間

平成 26 年 12 月 15 日(月)から平成 27 年 1 月 29 日(木)まで

3. 実施期間

協定締結後(平成 27 年 4 月予定)から平成 29 年 3 月 31 日まで

4. 提案様式、提出方法

詳細につきましては、下記 URL をご参照ください。

国土技術政策総合研究所ホームページ <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kyoudou/index.html>

(共同研究の手続きに関する問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

企画部 企画課 主任研究官 武内 慶了、係長 石尾 真理

TEL : 029-864-2214、FAX : 029-864-1527、E-mail : kyoudoukenkyu@nilim.go.jp

(共同研究の研究内容に関する問い合わせ先)

国土交通省国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部 橋梁研究室 研究官 宮原 史

TEL : 029-864-4919、FAX : 029-864-2690、E-mail : bridged@nilim.go.jp

共同研究の公募内容

共同研究の名称

道路橋の耐久性の信頼性向上のための構造細目や仕様に関する研究

担当研究室

道路構造物研究部 橋梁研究室

実施期間

協定締結後(平成 27 年 4 月予定)～平成 29 年 3 月 31 日

共同研究の背景及び目的

国土技術政策総合研究所では、道路橋の耐久性確保や、定期点検等の維持管理の容易さの確実性を向上させるべく、設計法の研究を進めている。これらを達成するにあたっては、道路橋の劣化メカニズムは複雑であり、局所的な環境条件や施工品質にも大きく依存することから、詳細な計算で構造を決定するだけでなく、構造の細部や形状の仕様を標準化することで、局所的な環境条件の改善や耐久性確保の前提となる品質の向上を図ることが有効である。また、維持管理が容易かつ確実な構造とするように配慮することが設計基準にて求められているが、多くの構造物で標準的に適用すべき条件や方法に定まった知見はなく、これを示すことで、多くの橋における維持管理性の向上が期待できる。

そこで、本共同研究は、国管理の道路橋にて実施されている道路橋定期点検のデータ分析等を行い、耐久性のばらつきを減少させるために対処すべき項目、及び、維持管理が容易かつ確実な構造になるように予め対策を講じておくことが必要な部位を特定すること、並びに、統一的な構造細目や仕様を充実することを目的とする。また、得られた成果は参加団体共同で資料集として公開するだけでなく、基準類や各団体の技術資料集等にて反映させることを目的とする。

なお、装置や材料等の新技術の検証は対象としない。

研究の項目

(1) 定期点検データ等の分析

国管理の道路橋にて H16 年より 5 年に一度実施されている定期点検結果を用いて、道路橋各部の損傷程度、環境条件、構造の詳細や形状等の関係を分析する。共同研究参加者は、構造の詳細や形状の決定法等、過去の基準類の変遷や必ずしも設計基準等では細部構造が規定されていない事項とデータの分析結果との関係について分析を行う。以上から、標準化すべき事項をまとめたうえで、本研究において統一化や標準化の対象とする事項を抽出する。

(2) 鋼道路橋に新たに望まれる構造細目や仕様に関する検討

鋼道路橋を対象に、新たな構造細目や仕様に関する調査・実験を行う。国総研と共同研究参加者は、設計や施工実態を踏まえた構造細目や仕様について共同で検討を行うとともに、主として共同研究者が検証実験や施工試験を実施する。

(3) コンクリート道路橋に新たに望まれる構造細目や仕様に関する検討

コンクリート道路橋を対象に (2)と同様の検討を行う。

(4) 構造細目や仕様案のとりまとめ

国総研と共同研究参加者は、共同で、新たな構造細目や仕様の案をまとめる。

共同研究の内容及び研究分担

研究項目	研究細目	研究分担					年次計画	
		国総研	共同研究者				27年度	28年度
			指定機関			公募		
			日本橋梁建設協会	プレストレスト・コンクリート建設業協会	建設コンサルタンツ協会	公募による参加者		
1. 定期点検データに基づく構造細目や仕様へのフィードバック事項に関する検討	・構造の詳細に関する技術基準類の変遷や基準類では規定されていない詳細の決定法に関する調査	○	◎	◎	○	◎	→	
	・定期点検データ等による実橋の耐久性の評価	○	◎	◎	◎	◎	→	
	・新たに基準化・標準化すべき事項の抽出	○	◎	◎	◎	◎	→	
2. 鋼道路橋の新たに望まれる構造細目や仕様に関する検討	・新たな標準に関する調査・実験	○	◎	—	○	◎		→
3. コンクリート道路橋の新たに望まれる構造細目や仕様に関する検討	・新たな標準に関する調査・実験	○	—	◎	○	◎		→
4. 構造細目や仕様案のとりまとめ	・要求性能に関する基準案の検討	◎	○	○	○	○		→
	・新たな細目、仕様、施工標準案のとりまとめ	○	◎	◎	◎	◎		→

※研究分担の欄の記号は以下のとおりである。

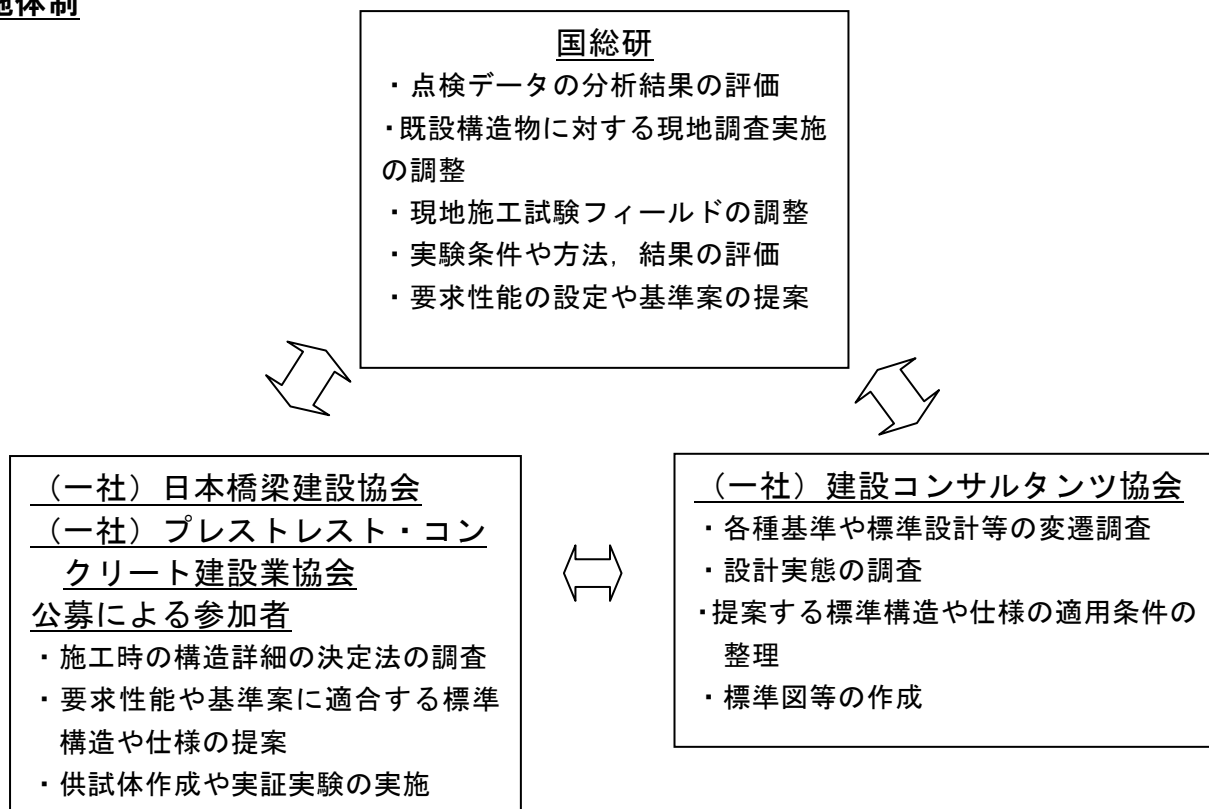
◎：該当する項目及び細目を主として分担する場合

○：該当する項目及び細目を従で分担する場合

—：該当する項目及び細目を特に分担しない場合

※共同研究者は、各自の技術開発能力の高い分野の研究を分担しつつ、相互に連携して研究を進めるものとする。

実施体制



成果例のイメージ

- ・点検にて状態の評価を行いやすい形状や配筋や板組
- ・標準的な設計法はないものの、耐久性に影響を与える可能性の高い不具合が見られる部位の標準構造（例：用心鉄筋等の細目の不足等の改善）
- ・橋台天端の排水性の改善 など

共同研究者(公募)に対する条件、募集する共同研究者数等

【共同研究者（公募）に対する条件】

共同研究者（公募）は、以下の条件（１）、（２）について全てを満たすものとする。

（１）以下の全てを満たすものとする。

- ① 本共同研究で分担する項目とその実施内容及び共同研究が実施できる体制が確認できること。
- ② 本共同研究に必要な費用を分担できること。

（２）以下の実績を有すること。

道路橋の分野で設計、施工又は管理に係わる広範な知見や技能を有し、かつ技術の標準化等に関わる研究開発実績。なお、本研究では、特定ものが開発した装置や材料等の検証は対象としないことに留意すること。

【参加者数等】

参加者数については上限を設けない。

参加者の決定にあたっては、共同研究申請書及び必要に応じて共同研究申請書の内容に関してヒアリングを実施した上で、総合的に評価し、判断する。公募条件及び研究内容に合致しない場合は参加を認めない。

なお、参加者は一般社団法人とする。

【ヒアリングの日程、場所】

ヒアリングの日程および場所は以下を予定している。

- ・日程：平成 27 年 2 月上旬
- ・場所：国土技術政策総合研究所

※具体的な日時・場所は、募集期間終了後、応募者に通知する。

注意事項

本共同研究において、各者で実施する研究に係る費用については、各者で負担していただきます。（国総研から共同研究者に対し、費用を支払うことはできません。）

また、共同研究者は、本共同研究のうち、国総研の研究分担に係わる請負業務への競争参加資格はなくなりますので、ご注意下さい。

問い合わせ先

（共同研究の手続きに関する問い合わせ先）

企画部 企画課 主任研究官 武内 慶了、係長 石尾 真理

TEL：029-864-2214、FAX：029-864-1527、E-mail：kyoudoukenkyu@nilim.go.jp

（共同研究の研究内容に関する問い合わせ先）

国土交通省国土技術政策総合研究所

道路構造物研究部 橋梁研究室 研究官 宮原 史

TEL：029-864-4919、FAX：029-864-2690、E-mail：bridged@nilim.go.jp